

平成27年度 協働事業振返り調査票

協働事業の名称 地域コミュニティ活性化に向けた空き家有効活用支援業務

所属名(団体名) NPO法人ちば地域再生リサーチ

1 事業の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働相手の選定(市) 協働相手を公募しましたか。公募しない場合は、選定理由を明確にしましたか。		
1-2 協働相手の選定(団体等) この事業の協働相手として自分の団体はふさわしい団体でしたか。	5	地域に根ざして活動するNPOとして、自治会や管理組合と連携しながら事業を行うことができた。
2 目的の共有 事業の目的・目標を共有しましたか。	5	千葉市及び対象地域の現状と課題を相互に確認しながら、事業の目的と目標を共有できた。
3 目的・目標の達成 事業の目的・目標は達成できましたか。	4	具体的な空き家の活用には至らなかったが、将来の空き家活用モデル案を作成することができた。
4 事業実施中の意見や情報の交換 適宜、意見や情報の交換を行い、必要に応じ協議事項の見直しを行うなど、柔軟に対応できましたか。	5	地域の方の意見や調査の結果について、庁内検討部会等で意見交換を行いながら、現状を踏まえて事業の進め方について柔軟に対応できた。
総合コメント 地域の状況や事情を考慮しながら行う事業であるため、予定通りに進めることができないことも多かったが、一定の成果をあげることができた。今回の事業の経験を活用しながら今後も継続的に空き家活用に取組んでいきたいと考える。		

2 協働の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働の形態の選択(市) 選択した協働の形態(委託、共催、事業協力、支援・補助)は適切でしたか。		
1-2 協働の形態の選択(団体等) 自らの特性を活かせる連携方法でしたか。	5	市の情報収集能力や信用力と、NPOの調査や企画・設計力を相互に活用することができた。
2 協働の意義の明確化 協働で実施する必要性やねらいを明確にしましたか。	5	市の庁内連携による総合性と、NPOの地域での信頼性と専門性を生かすことの意義を明確にして事業を実施した。
3 主体性・自主性の尊重 お互いを理解し、尊重して事業を進めましたか。	5	市の全体性とNPOの地域性を理解し尊重しながら進めることができた。
4 役割と責任の自覚 役割分担や責任の所在が明確でしたか。	5	逐次連絡を取合いながら適切に役割分担をすることができた。
5 協働の成果 協働ならではの成果はありましたか。また、副次的な効果はありましたか。 副次的効果：会員が増えた、会員や職員の育成につながった、新たな事業展開や課題解決方法が見つかった等	4	市のWebページで行った空き家活用希望者の募集には多数の応募があり、潜在的なニーズの高さを把握することができた。 また、他行政(豊島区、世田谷区等)や、空き家活用団体と情報交換を行い、今後の空き家活用の取組みに向けた基盤ができた。
総合コメント 今回、空き家活用の取組みを協働事業として行ったことにより、質の高い調査や提案作成、及び情報発信を行うことができた。空き家活用には所有者、地域住民、活用者等、多くの主体が関わるため特に協働の意義が高かったと考える。		

この振返りは、協働事業を行った双方が、協働事業への理解を深め、良好なパートナーシップを構築することにより、お互いに成長し、また、よりよい協働事業の発展につなげるために実施するものです。得点の高低や事業の優劣をつけるものではありませんので、率直な意見を記入してください。※振返り結果は 1(評価が低い) → 5(評価が高い)の基準で記入してください。